

JA全農 とくしま情報

地域の話題や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2024
4月号
No.774



Youtube「ゆるふわたいむ」新MCの秋元真夏さんが「JAタウン」をPR

マンスリーレポート 2

- ・東京・豊洲市場でハウスダチの初売りセレモニー
- ・「徳島すだち」新化粧箱使用開始
- ・JAあわ市営農経済拠点施設竣工式
- ・JA麻植郡ひまわり農産市鴨島店新築移転オープン
- ・外務大臣及び徳島県知事共催レセプション
- ・第16回徳島県JA農産物鑑定会および検査員研修会
- ・阿波ふうどフェア
- ・JAアグリあなんで組合員大感謝祭
- ・大阪市中央卸売市場で徳島県産春ニンジンPR

交通安全のお知らせ 6

- ・春の全国交通安全運動実施について

旬の野菜でおうちごはん 7

- ・トマトと八朔のカクテルサラダ

トピックス 8

- ・営農コラム

マンスリーレポート

～全国の青果市場で一斉に販売開始～

東京・豊洲市場でハウススダチの初売りセレモニー

3月11日、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会は、東京都中央卸売市場・豊洲市場において「令和6年産ハウススダチ初売りセレモニー」を開催しました。

午前6時、東京シティ青果株式会社のフレッシュ・ラボ前で、同協議会の坂本雅彦会長(当県本部県本部長)、産地からJAアグリあなん・JA徳島北の役職員、徳島県東京本部、すだち大使らが参加し、市場・仲卸関係者へ販売促進・消費宣伝をおこないました。

主催者を代表して坂本会長より、「本日より全国の主要青果市場で一斉に徳島県産ハウススダチの販売が開始されます。本年産(3～6月)は生産面積1,692アール・出荷数量200トンと共に前年増を見込んでおり、本年も大玉で果汁も多く、大変香りの良いハウススダチが収穫できています。協議会ではGI活用によるブランド強化、産地では年間を通じた安定出荷に取り組みますので、なお一層の価格転嫁と有利販売をお願いします」とあいさつをおこないました。

続いて、日本航空株式会社「JALふるさと応援隊」の菅又美貴子さんから、3月7日に阿南市内の圃場で実施したハウススダチ収穫作業について紹介していただいた後、すだち大使の3名(中川かりんさん、平石静香さん、桧妃菜さん)がスダチの小袋やスダチ飲料を手渡し、市場・仲卸関係者約150人に『徳島すだち』の周知・PRをはかりました。

また、セレモニー終了後は、豊洲市場内でスダチを取り扱う仲卸業者や、首都圏の青果卸売会社4社を表敬訪問し、本年産ハウススダチの有利販売について協力を依頼しました。



ハウススダチ初売りセレモニーに参加した関係者



市場関係者へスダチなどを手渡すすだち大使



仲卸業者を訪問しPRするすだち大使

～更なる消費拡大・ブランド強化をめざして～

「徳島すだち」新化粧箱使用開始

徳島県産すだちは、品質や評価などが生産地と結びついている産品として、農林水産省がその名称を知的財産として保護する「地理的表示(GI)保護制度」に「徳島すだち」として登録されています。

(登録日: 令和5年3月31日、登録生産者団体: 徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会)

これを受けて、県内産地JAでは、すだち1kg出荷箱(化粧箱)を「徳島すだち」仕様の統一デザインに新調し、本年4月から順次切り替えにより商用利用を開始することとなりました。

新化粧箱は、「徳島すだち」の緑色の果皮の美しさや果汁の瑞々しさを前面に押し出したデザインとしており、箱上面にはGIマークと登録番号(第129号)を記載しています。

協議会では、この新化粧箱の利用拡大に併せて全国でのPR活動を展開し、「徳島すだち」の一層の消費拡大とブランド強化をめざします。



新化粧箱の「徳島すだち」

～組合員に寄り添った農業や暮らしの持続的な支援をめざして～

JAあわ市営農経済拠点施設竣工式

3月16日、JAあわ市(前田安夫代表理事組合長)は、阿波市阿波町(旧久勝支所)において、「JAあわ市営農経済拠点施設」の竣工式をおこないました。当施設は、組合員の営農活動と産地活性化のため「地域とJAの架け橋」となることを目的として新設されました。

JA全農と共同運営する農業資材店「JA-CAT」をはじめ、直売所やガソリンスタンド、キッチンスタジオなどを集約した総合拠点となっています。

竣工式では、徳島県副知事、阿波市市長、県中央会会長をはじめ当県本部役職員、工事関係者など約80人出席のもと、賀茂神社宮司による神事がつつがなく執りおこなわれました。

建物の概要は次のとおりです。

■あわ市営農経済センター

構造・面積：鉄骨造平屋建て 1421.61㎡
 JA-CAT 786.64㎡
 土柱の里 352.96㎡
 営農経済C 282.01㎡

■購買倉庫

構造・面積：鉄骨造平屋建て 317.79㎡

■あわ市キッチンスタジオ(加工所)

構造・面積：鉄骨造平屋建て 256.15㎡

■あわ市農機センター

構造・面積：鉄骨造平屋建て 455.00㎡

■JASS-PORTあわ市(セルフガソリンスタンド)

面積・概要：GS使用面積 941.74㎡
 計量機(ハイオク・レギュラー・軽油)2機、車両4台対応
 (灯油)1機、車両2台対応、(配送用)1機
 洗車機(泡洗車)1機

なお、設計・施工管理はJA全農西日本広域施設農住事業所徳島施設農住事務所がおこないました。



関係者によるテープカットセレモニー



神事式の様子



式辞を述べられる
JAあわ市・前田安夫代表理事組合長



祝辞を述べられる
JA全農・野口栄代表理事理事長

～新鮮で安全な農産物を安定提供～

JA麻植郡ひまわり農産市鴨島店新築移転オープン

3月9日、JA麻植郡(川村修代表理事組合長)の運営する農産物直売所「ひまわり農産市鴨島店」が、JA麻植郡本店西側に新築移転オープンしました。

新店舗では従来の設備に加え、新たに農業資材の販売所や加工所を新設しました。また、店舗面積も拡張し出荷者や消費者がより利用しやすい直売所を目指しています。

オープン当日は先着700名への記念品プレゼントやオープン記念セールなどが催され、多くの買い物客が訪れました。お目当ての新鮮な野菜や加工品を買い求め、エコープマーク品のコーナーも人気を集めていました。



関係者によるテープカットセレモニー



たくさんの買い物客で賑わう店内

マンスリーレポート

～徳島県産食材の魅力をPR!～

外務大臣及び徳島県知事共催レセプション

3月16日、東京都港区の外務省飯倉公館で、「SDGs先進県徳島を世界へ発信するレセプション」が開催されました。これは、地方の魅力を世界に発信するプロジェクトとして外務大臣と地方自治体首長の共催により実施されているもので、第25回目の今回は徳島県知事との共催で実施されました。

本レセプションには、駐日外交団や駐日外国商工会議所、企業関係者、徳島県関係国会議員など約230名が招待され、上川陽子外務大臣、後藤田正純徳島県知事がそれぞれ挨拶をおこないました。

当県本部園芸部は、すだち大使の桜妃菜さんと共に出展ブース『香酸かんきつの里・徳島』において徳島県産香酸かんきつ果汁(すだち・ゆこう・ゆず)を使用した3種のスイーツをおすすめし、徳島県産食材の魅力を各国からの参加者にPRしました。



上川陽子外務大臣にスイーツの試食をすすめるすだち大使の桜さん



あいさつをする後藤田正純徳島県知事

～鑑定技術の維持・向上へ～

第16回徳島県JA農産物鑑定会および検査員研修会

2月27日、徳島県JA農産物検査協議会(会長=JA徳島市・井河勝淑宮農経済部長)と当県本部は、徳島市内のホテルクレメント徳島で、JA登録検査機関の農産物検査員や中国四国農政局職員など関係者25人参加のもと、「第16回徳島県JA農産物鑑定会および検査員研修会」を開きました。

この鑑定会は、JAグループの農産物検査員の鑑定技術の維持・向上や、会員の情報交換、検査の信頼性確保を目的として毎年実施しておりましたが、新型コロナウイルスの影響による中止期間を経て、今回が4年ぶりの開催となりました。また、3月8日に千葉県で開催された全国大会「JAグループ全国農産物鑑定会」への出場権を獲得するための予選会にもなっています。

この日の鑑定会には11JAより検査員18人が参加し、抽選順序に従い、一人制限時間30分以内で、水稻うるち玄米35点と水稻もち玄米5点の等級判定を持ち点400点から減点法でおこないました。

受賞者は次の方々です。(敬称略)

- ◆最優秀賞(徳島県JA農産物検査協議会長賞): 吉本幸平(JA麻植郡)
- ◆優秀賞(全国JA農産物検査協議会長賞): 濱口晶司(JAあわ市)
- ◆優秀賞(全国農業協同組合連合会徳島県本部長賞): 安原晃(JA板野郡)

なお、徳島県JA農産物鑑定会開催要領にもとづき、吉本さんと濱口さんの2人が全国大会に出場し、全国から参加した検査員77名と鑑定技術を競いました。



慎重に鑑定をおこなう検査員



受賞者の方々(左から濱口晶司さん、吉本幸平さん、安原晃さん)

～岐阜・愛知・奈良・兵庫で徳島県産農産物をPR!～

阿波ふうどフェア

当県本部園芸部は、徳島県関西本部、セントライ青果株式会社、岐阜中央青果株式会社、奈良中央青果株式会社、東果大阪株式会社、大阪中央青果株式会社の協力のもと、岐阜県・愛知県・奈良県・兵庫県において「阿波ふうどフェア」を開催し、徳島県産農産物の販売・PRをおこないました。

店舗の特設コーナーでは「すだちくん」と大阪事務所の職員などが一緒に宣伝活動をおこない、多くの来店客に喜んでいただきました。



◆3月2日 ユニードンキホーテ・美濃加茂店(岐阜県)



◆3月3日 ユニードンキホーテ・稲沢東店(愛知県)



◆3月9日 スーパーセンターオークワ 生駒上町店(奈良県)



◆3月10日 アピタ大和郡山店(奈良県)



◆3月16日 ダイエー西宮店(兵庫県)



◆3月24日 フレスト松井山手(兵庫県)

～組合員や地域住民の笑顔があふれる～

JAアグリあなんで組合員大感謝祭

3月2日、JAアグリあなんで「JAアグリあなん組合員大感謝祭」(主催＝JAアグリあなん)が開催されました。

会場には農業機械やガス器具、住宅リフォームの相談、営農相談、衣類や寝具・仏具の展示販売などたくさんのブースが設けられ、多くの組合員が実際に農機やガスコンロなどに触れ担当者に質問をしたり、お目当ての商品を購入していました。

また、農産物の販売や女性部によるうどんなどの販売、同JAの移動販売車スマイル号やキッチンカーの来場、ステージではヒーローショーやもち投げ、阿波踊りなどの楽しいイベントもあり、家族連れなど約3000人の来場者が訪れ大変賑わっていました。



防草段ボールシートを推進する当県本部園芸資材課職員



会場が盛り上がったヒーローショー

マンスリーレポート

～春ニンジンのパイプハウスを展示～

大阪市中央卸売市場で徳島県産春ニンジンでPR

3月19日、徳島県にんじん振興協議会(会長＝坂本雅彦県本部長)は大阪市中央卸売市場本場内の大阪中央青果株式会社において、4月の出荷最盛期を前に市場関係者に徳島県産春ニンジンでPRしました。

当日は徳島県独自の栽培方法であるハウス栽培を知ってもらい販売促進につなげようと、実際に市場内に設営したパイプハウスを披露しながら、坂本会長より「柔らかくて甘いニンジン育てるため、生産者は雨が当たらないよう手間と愛情をかけて栽培しています」と説明をしました。

関係者にパイプハウスを直接見て、触れていただいた後、当県本部や県の職員が約100人に栽培方法を紹介するチラシやニンジンジュース(ザ・キャロット)を手渡ししながら、有利販売をお願いしました。



あいさつをする坂本雅彦会長



ニンジンチラシや飲料を手渡し、県やJA、当県本部職員



パイプハウスを見学する市場関係者

交通安全のお知らせ

春の全国交通安全運動実施について

広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として、春の全国交通安全運動が下記のとおり実施されます。同運動より効果的かつ実効のあるものとし、一つでも多くの交通事故を減らすために皆様方のご協力をお願いします。

1 期間

4月6日(土)から15日(月)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(水)

2 全国重点

(1)子どもが安全に通行できる道路環境の確保と安全な横断方法の実践
新入学児童・幼児が登下校の際、不慣れな道路を一生懸命通学しています。

ドライバーの方は通学路や住宅街では油断せず、特に安全運転を心がけてください。

(2)歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行

車両等は、横断歩道を渡っている人や渡ろうとする人がいれば一時停止しなければなりません。

歩行者の方も横断する際は左右をよく確認し、手を上げて渡りましょう。横断中も安全確認!

(3)自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

自転車乗車中に交通事故で亡くなった方の約半数が「頭部損傷」に

よるものです。交通事故による被害を軽減するためには、頭部を守ることが重要です。必ずヘルメットを着用してください。

3 徳島県重点

高齢者及び夜間の交通事故の徹底抑止

高齢者の方は加齢に伴う身体機能の変化について理解し、事故に遭わない、起こさない交通行動をとりましょう。また、夜間外出する際は、明るい服装や反射材用品を着用し、ドライバーに自分の存在をアピールしましょう。

4月1日から5月31日は自転車交通安全運動月間となっています。自転車安全利用五則を守り、交通事故を防ぎましょう。

◇車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先

◇交差点では信号と一時停止を守って安全確認

◇夜間はライトを点灯 ◇飲酒運転は禁止

◇ヘルメットを着用



徳島県警察本部 交通安全課

料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介します！



トマトと八朔のカクテルサラダ



▼材料(2人分)

トマト……………1個
八朔……………1個
(好みで)飾り用ミント

A { オリーブオイル……………大さじ2
はちみつ……………小さじ1
オレンジキュラソー……………少々
塩、こしょう……………各少々

▼作り方



① トマトは1cm角のさいの目切りにし、Aを混ぜる。



② 八朔は食べやすい大きさに切る。

③ ①、②、Aを混ぜる。

POINT

薄皮は包丁とまな板で挟み込む様にして剥く。



料理研究家 HITOMI <https://hitomi-cook.com/>

◎免許：調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー
◎賞：2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴：TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演／ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント：大阪ガスハグミュージアムにて鰻を使った爽やか料理講習会／大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師：兵庫イオンカルチャー（姫路、加古川、明石の3店舗）講師／神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西區民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など

退職

長年にわたり本会事業に貢献されてこれ大変お疲れさまでした。
ご健勝ご多幸ならびに、今後一層のご活躍をお祈りします。

退職者

令和6年3月31日付

氏 名	部 署
新見 和義	出向 徳島県施設農業協同組合連合会
仁木 智美	管理部 企画管理課

氏 名	部 署
走出 昌典	本所 耕種資材部 中四国広域農機事業所 徳島農機事務所 西部農機SC
濱堀 友実	営農資材部 営農支援課
仲須 敦史	営農資材部 肥料農薬課



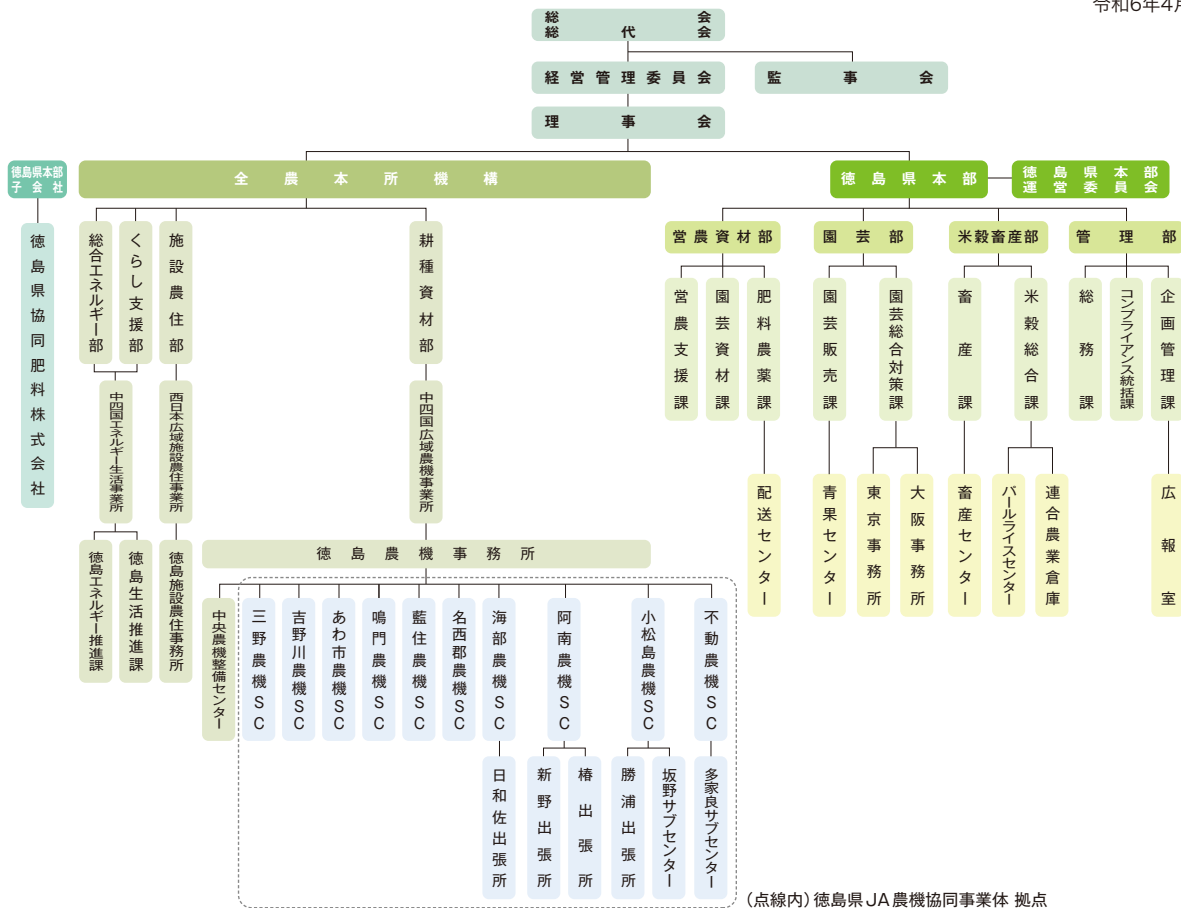
令和6年度全農徳島県本部機構図

令和6年4月1日付で以下のとおり機構変更を実施しました。

＜全農本所機構＞

1. 中四国広域農機事業所徳島農機事務所の西部農機SCを廃止しました。
2. JAと農機事業一体運営をおこなっており、令和6年4月1日のJA合併にともないJAの名称が変更するため、徳島農機事務所の下位機構の名称を変更しました。

令和6年4月1日現在

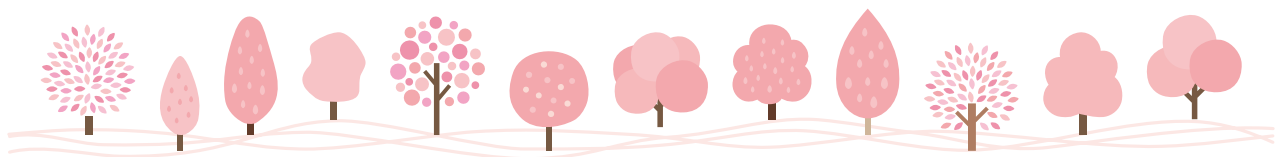


令和6年度全農徳島県本部人事異動

県本部職員の令和6年度人事異動が発令されました。

令和6年4月1日付

氏 名	コース	職能資格	新 職 務 ・ 職 制	旧職能資格	旧 職 務 ・ 職 制
西川 伸哉	総合職	監理役	米穀畜産部 部長	審査役	米穀畜産部 部長
有内 大輔	総合職	審査役	管理部 次長 管理部 企画管理課 課長 事務取扱 管理部 コンプライアンス統括課 課長 事務取扱 管理部 企画管理課広報室 室長 事務取扱	審査役	管理部 次長 管理部 企画管理課 課長 事務取扱 管理部 コンプライアンス統括課 課長 事務取扱
野上 真司	総合職	審査役	米穀畜産部 次長	審査役	本所 総合エネルギー部 中四国エネルギー生活事業所 徳島エネルギー推進課 課長
瀧上 大作	総合職	審査役	米穀畜産部 米穀総合課 パールライスセンター センター長	副審査役	米穀畜産部 米穀総合課 パールライスセンター センター長
棧敷 高明	総合職	副審査役	米穀畜産部 米穀総合課 課長	調査役	米穀畜産部 米穀総合課 課長
大塚 雅信	総合職	副審査役	営農資材部 営農支援課 課長	調査役	営農資材部 営農支援課 課長
天羽 宏太	総合職	調査役	管理部 企画管理課	1級	管理部 企画管理課
島崎 直樹	総合職	調査役	米穀畜産部 米穀総合課	1級	米穀畜産部 米穀総合課
檜原 弘典	総合職	調査役	園芸部 園芸総合対策課	調査役	出向 ジェイエイ徳島燃料サービス株式会社
阿部 靖	総合職	調査役	営農資材部 園芸資材課	1級	営農資材部 園芸資材課
橋羽 紀人	総合職	1級	管理部 総務課	2級	営農資材部 肥料農薬課
三宅 康文	総合職	1級	米穀畜産部 米穀総合課	1級	米穀畜産部 米穀総合課 パールライスセンター
赤澤 真理	総合職	1級	米穀畜産部 米穀総合課	担当職 1級	管理部 企画管理課
岡田 康平	総合職	1級	園芸部 園芸販売課	2級	園芸部 園芸販売課
橋本 良	総合職	1級	営農資材部 営農支援課	1級	出向 徳島県協同肥料株式会社
岡村 洋希	総合職	1級	営農資材部 肥料農薬課	1級	米穀畜産部 畜産課
大西 健太	総合職	1級	営農資材部 肥料農薬課	担当職 1級	管理部 企画管理課
前田 康周	担当職	1級	営農資材部 園芸資材課	2級	営農資材部 園芸資材課
祖川 昌也	総合職	2級	園芸部 園芸販売課	2級	園芸部 園芸総合対策課
安村 友哉	総合職	2級	園芸部 園芸販売課	3級	園芸部 園芸販売課
石山 勝也	担当職	2級	営農資材部 営農支援課	2級	営農資材部 園芸資材課
麻植 隆	担当職	2級	本所 施設農住部 西日本広域施設農住事業所 徳島施設農住事務所	2級	園芸部 園芸販売課
鎌田 優希	総合職	3級	園芸部 園芸総合対策課	3級	管理部 総務課



令和6年度全農徳島県本部事業計画



1. 徳島県本部の取り組み

(1) 中期計画(令和4～6年度)の最終年として「生産振興・生産基盤の強化」「バリューチェーンの構築」「JA支援」の取り組みを実施

ア. 生産振興・生産基盤の強化

- 企業や行政と連携した労働力支援の強化
- 生産資材(肥料・農薬・資材・農機)のトータルコスト低減
- 優位性品種の選定による生産振興
- 県域物流導入による効率的配送体制の推進
- 広域集出荷施設や青果物の物流効率化の推進

イ. バリューチェーンの構築

- 米の集荷拡大と消費圏へのパールライス精米の販売力強化
- 県本部青果センター機能を活用したバラ集荷と直接販売の拡大

ウ. JA支援

- 他連合会と連携した「経済事業強化メニュー」の提案と実践

(2) SDGs等の環境問題への対応

- JAグループ・大学・行政の連携による農業系バイオマスを活用した新規事業の創出検討
- 環境問題に対応した資材の推進提案

2. 徳島県本部経営計画

令和6年度の取扱高は生産資材・生活事業の販売高減少を見込み、575億69百万円(前年計画比99%)とします。

(単位: 百万円、%)

事業	令和6年度計画	令和5年度計画	前年比
米穀事業	3,244	2,967	109
畜産事業	2,615	2,622	100
園芸事業	38,800	38,650	100
生産資材事業	6,497	6,722	97
生活事業	6,411	7,002	92
合計	57,569	57,967	99

※取扱高金額は、収益認識会計基準適用前の値を表示。
(供給高+販売高+本部間販売、消費税は税抜表示)

新規採用職員紹介

- ①出身地 ②生年月日 ③出身校 ④趣味・特技 ⑤好きな食べ物
⑥学生時代または社会人時代の思い出 ⑦仕事への抱負

JA全農とくしまに3人の新規採用職員が入会しました。よろしくお願いいたします。



営農資材部 肥料農薬課 久米 雄士(くめ ゆうじ)

- ①徳島市八万町 ②2000年8月18日 ③京都産業大学
④バスケットボール ⑤ハンバーグ
⑥GUで約2年半アルバイトをしたこと。
⑦徳島県の農業の発展に貢献できるように頑張ります。



本所耕種資材部 中四国広域農機事業所 徳島農機事務所
鈴江 浩太郎(すずえ こうたろう)

- ①徳島市中前川町 ②2001年5月17日 ③龍谷大学
④一眼レフカメラで写真を撮ること。 ⑤寿司
⑥大学の友人と北海道や福岡県などに旅行したこと。
⑦徳島県の農業や地域の発展に貢献できるように励みます。



営農資材部 園芸資材課 林 亮汰郎(はやし りょうたろう)

- ①板野郡北島町 ②2002年2月28日 ③松山大学
④野球 ⑤ピザ
⑥6カ国海外旅行したこと。
⑦色々なことに挑戦し、徳島県の農業を発展させます。

営農コラム

ブロッコリーが「指定野菜」へ 営農開発課 技術主管 隔山 普宣

緑黄色野菜の代表格であるブロッコリーが、2026年度から新たに「指定野菜」に追加されることとなりました。「指定野菜」とは、国の消費量が多く国民生活上の重要性が高い野菜として位置づけ、生産・出荷の安定と消費者への安定供給を確保する品目です。これまでにキャベツ、キュウリ、ダイコンなど14品目が指定されており、「指定野菜」に新たな野菜が加わるのは、1974年にジャガイモが追加されて以来、およそ半世紀ぶりとなります。

現在、ブロッコリーは「指定野菜」に準ずる重要な野菜として位置づけされる「特定野菜」です。北海道、愛知県、埼玉県などが主な産地(徳島県は出荷量、作付面積ともに全国6位)で、野菜の出荷量が減少する中、出荷量、作付面積ともに10年間で約3割増えています。

ブロッコリーの需要が高まっている理由としては、近年の健康志向の高まりが影響しています。食物繊維やビタミン、ミネラルなどが豊富に含まれていて、ゆでただけで食べられるので手軽に栄養を摂ることができます。調理方法も幅広く、サラダ、炒め物、スープに入れたりと様々な料理に利用できるのも魅力です。また、筋肉を育てるのに必要

なタンパク質やビタミンB6などの栄養素が多く含まれており、筋トレをしている方が鶏肉と合わせて食べるのに適した食材として注目されています。

それでは指定野菜になるとどのようなメリットがあるのでしょうか。指定野菜価格安定対策事業により、ブロッコリーの市場価格が一定以上下落した場合に、生産者に補給金が支払われます(特定野菜より補填率が高い)ので、生産者の収入が安定し、安心してブロッコリーが栽培できるようになります。このことにより、生産意欲が高まり、さらなる生産拡大が見込まれます。

また、健康志向の高まりと相まって冷凍野菜としての需要が拡大傾向にあり、加工・業務用の輸入量が増加しています。指定野菜となり生産量が増えることで、主に業務用で使われる冷凍ブロッコリーの国産への切り替えも期待できます。

食品業界や消費者も指定野菜となることでブロッコリーに注目しています。新たな食べ方の提案や調味料の開発など、生産と消費をともに伸ばしていかなければなりません。



～ユーチューブで県産農産物をPR～

全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」

当県本部企画管理課広報室と徳島県にんじん振興協議会(会長＝坂本雅彦県本部長)は、JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」の商品を紹介するユーチューブ番組「ゆるふわたいむ」で県産春ニンジンを中心にPRしました。

3月21日、人気タレント(元乃木坂46メンバー)の秋元真夏さんが、JA板野郡の直売所「アグリ板野」を訪れ、買い物を楽しみながら徳島県の農産物や加工品を紹介しました。翌日の22日には、朝から徳島県板野郡のニンジン生産者の生田圭一郎氏の圃場を訪れ、ニンジン掘り機に乗って収穫体験をしたり、JA板野郡の職員や女性部が準備したニンジン料理(ナムル、春巻き、ジュース)を試食・試飲しました。

収録後、秋元さんは「ゆるふわたいむMC就任初めての収録で緊張しましたが、徳島県の魅力を知ることができて良い経験になりました」と話してくれました。

同番組は2022年7月から配信しており、徳島県内での収録は2023年9月のレンコンとなると金時に続き2回目となります。今回の撮影は4本の番組に編集し、4月19日から順次配信を始めていきますので、ぜひご視聴ください。



JA板野郡の職員や女性部が調理したニンジン料理を秋元さんと生田さんが試食



秋元さんが圃場で春ニンジンをPR



JAタウン
https://www.ja-town.
com/shop/c/c7001/



Youtube「ゆるふわたいむ」
https://www.youtube.
com/@yurufuwa_time

うちんくのペット

ホッと一息 可愛いペットで癒されましょう♪



ペロリ!
ごはん美味しかった～

紀州犬(雑種) 村上 ハク (♂・推定8歳)

性質:食事と散歩を愛し、それ以外はほぼ何もせず怠惰な日々を過ごしている。しばしば脱走し、ヨソ様とヨソ様のワンちゃん相手に戦闘態勢に入る。

経歴:警察犬でもないのに警察署に出入りしたことがある。

好物:美味しいもの

飼い主からひとこと:お利口さんになりますように!

※うちんくのペットに掲載ご希望の方は、JA全農とくしま広報室(TEL088-634-2462)までご連絡ください。

～豊洲千客万来で徳島県産春ニンジンをPR～ 徳島県なっとく市開催

3月16日、徳島県にんじん振興協議会は、東京シティ青果株式会社、徳島県、JA板野郡協力のもと、2月1日にオープンした豊洲千客万来「お祭り広場」で、徳島県産春ニンジンのPRイベント「徳島県なっとく市」を開催しました。

イベントでは、春ニンジンをはじめとした、徳島県産青果物および加工食品の販売や春ニンジン丸搾りジュースの試飲を行いました。また、ステージ上ではJA板野郡の藤井晴夫参事が「徳島県から春を運んできました。徳島県の柔らかくて甘い春ニンジンをも是非味わってください」と、春ニンジンの魅力を来場者へお伝えしたり、東京シティ青果株式会社による模擬せり体験などが実施され、会場は大変賑わっていました。

春ニンジン丸搾りジュースを試飲した方は、「ニンジンだけで、こんなに甘いジュースになるなんてびっくりしました」と驚いていました。また、搾りかすを使用したアレンジレシピをいくつかお伝えすると「作ってみたい」とたくさんの方が販売ブースでニンジンを購入していました。

模擬せり体験(小学生以下)に参加した子供たちは、東京シティ青果株式会社の社員からせりの流れを教わり、模擬せり体験を楽しんでいました。



ニンジン◎搾りジュースを試飲する来場者



徳島県産青果物・加工品の販売ブース

企画管理課

～徳島県産米あきさかりのおにぎりとスダチ飲料でおもてなし～ 「とくしまマラソン2024」で 応援活動

3月24日、徳島県内で開催された「とくしまマラソン2024」において、当県本部は今年も沿道応援隊を結成し、ランナーの応援活動をおこないました。

コースとなった板野郡上板町の上板畜産センター前の沿道で、県本部長をはじめとした職員26人が徳島県産米あきさかりの『一口サイズのおにぎり』7,000個と徳島県産スダチ飲料『ザすだち』5,000杯を配布し、声援と拍手でランナーに熱い応援を送りました。

当日はあいにくの雨模様でコンディションが悪いなか、懸命に走り込んでくるランナーに「おにぎりを食べてがんばってください!」「ザすだち美味しいですよ!」と大きな声援をおくりました。ランナーからは「おにぎりで元気が出ました!」「ザすだち大好きです」といった好評の声をいただきました。

第14回目となる本大会には、県内外や海外から6,499人のランナーが参加し、当県本部からも4名の職員が出場しました。各々、自己ベストや完走などの目標達成をめざし阿波路を駆け抜けました。



おにぎりとすだち飲料をランナーへ提供



JA全農とくしま応援隊



2時間台をマークした
当県本部の祖川昌也職員

シロアリ発見は 床下調査から！

シロアリは、4～7月にかけて活動が活発になります。この時期に羽アリを見かけたら、大切な住まいが危険な状態になっている可能性があります。

JAでは現在、床下無料調査を実施しています。お客様からの調査依頼により、無料で床下の点検および点検結果の報告をおこない、お客様にあった防除をお勧めします。その後、お客様から申し込みがあった場合に、有償にてJA・全農取引業者が防除をおこないます。

また、床下や天井裏のよどんだ空気を強力に攪拌し、空気の流れを活発にする床下乾燥機・床下攪拌機もお勧めしています。湿気をなくすことでカビ・ダニの繁殖や木材の腐食、人体への影響を防ぎ、快適な住生活をおくることができます。

ぜひこの機会に、最寄りのJAまたは徳島施設農住事務所（電話088-634-2525）までご相談ください！

シロアリ発見

10のポイント3つあったら危険信号






シロアリ
土の中を移動し、床下から隙間を作り壁紙に侵入して木材等を食害します。とても注意深く、土の中や木材の中で、一年中活動をしています。



シロアリの羽アリ
春から初夏にかけてシロアリの一部が新しい巣を作るために羽アリとなって飛び立ちます。

01	羽アリを近所や家の中で見かけたことがある。	☒
02	最近、近所でシロアリの防除工事を実施した家がある。	☐
03	増改築を行ったことがある。（または、行う予定がある。）	☐
04	廊下等の床に“ブカブカ”するところがある。	☐
05	最近浴槽等水回りの入口敷居が“ギシギシ”きしむようになった。	☐
06	以前実施したシロアリ防除工事から、5年以上経過している。	☐
07	柱等の木部を叩くと“空洞音”のするところがある。	☐
08	新築で建ててから、10年以上床下点検をしていない。	☐
09	庭の木杭等にシロアリによる被害がある。	☐
10	雨漏りしている箇所がある。	☐

ただいまJAでは 床下無料調査 実施中

無料で床下点検・点検結果の報告を行い、お客様にあった防除をお勧めします。その後、お客様から申し込みがあった場合に、有償にてJA取引業者が防除を行います。

シロアリ防除のご相談はJAへ

お申込み・お問い合わせはお近くのJA（農協）へ

JA・農協指定、全農取引業者

(株)大塚シロアリ研究所



〒779-3105 徳島市国府町東高輪375の3

☎(088) **643-0666**

令和6年度

大切なお家をより快適に

JA住宅ご紹介 キャンペーン



「新築」「リフォーム」のご予定のある方をご紹介ください

キャンペーン期間

令和6年 4/1

令和7年 3/31

ご紹介物件の条件

- ① 個人住宅・賃貸住宅・農舎の新築やリフォームのご予定のある方
- ② JA全農からの案内や訪問が可能な方

新築や
リフォームは
JAで!



ご紹介者プレゼント

2,000円相当の記念品を
プレゼントいたします

※1紹介物件につき1景品とします。
複数の方にご紹介いただいた場合には、最初にご紹介いただいた方に限定させていただきます。



ご成約時プレゼント

ご紹介後2年以内に契約が成立した場合は下記の記念品をプレゼントいたします。※契約金額は消費税等別途

300万円～1,000万円未満	5,000円相当
1,000万円～2,000万円未満	10,000円相当
2,000万円～3,000万円未満	20,000円相当
3,000万円以上	30,000円相当



お問い合わせは

お近くの JA | JA全農

徳島施設農住事務所
徳島市北佐古一番町5-12

088-634-2525

あなた様のお名前

お名前	年齢	歳
〒		
ご住所		
電話番号		

JA 支所 担当者 受付 月 日

施主様のお名前

お名前	年齢	歳
〒		
ご住所		
電話番号		

情報提供の
同意の確認

有

ご紹介物件 ※該当する物件に○をつけてください。

A. 個人住宅 B. 賃貸住宅 C. 農舎 D. リフォーム

個人情報の利用目的：直接取得または間接取得した個人情報については個人住宅・賃貸住宅・農舎・リフォームのご提案、その他、ご利用に当り業務を適切かつ円滑に履行するために使用します。また、施主様に、本キャンペーンに紹介する旨のご確認をいただき、上記「ご紹介用紙」の「情報提供の同意の確認」欄の「有」に○を付けてください。本欄が未記入の場合は、本紹介は無効とさせていただきます。

ご紹介用紙

分 類	使用可否
一般米	可 ○
飼料米	可 ○
WCS	可 ○

誘引! 摂食! 速効的!

殺虫剤

スクミノン®

メタルデヒド粒剤



農林水産省登録
第22153号

WCS (稲発酵粗飼料) に使用可能!



田植え同時処理でも!



ドローン散布でも!
(無人航空機による散布の登録を取得)



商品説明と田植え同時処理の事例を
動画で説明しておりますので、
ぜひご覧になってください。➡



散布から効果発現まで



スクミノンを餌と思い近づき
ます。



スクミノンを食べます。



数分で麻痺が起こり、殻の中
に閉じこもります。



約1日後に致死します。

スクミノンを食べると数分で麻痺が起こり、稲を摂食しなくなります。



®はサンケイ化学㈱の登録商標です。



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JA全農とくしま
クックブック



JA全農とくしま
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農

JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



**「JA全農とくしま情報」に
関するお問い合わせ先**

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は
無料です。送付先の氏名・住所変更や、
送付の停止につきましては、
JA全農とくしま企画管理課広報室
(電話 088-634-2462)
までご連絡ください。

